

## 「自衛隊の補給支援活動に関する特別世論調査」の概要

平成 21 年 3 月 5 日  
内閣府政府広報室

調査概要	調査対象	全国 20 歳以上の者 3,000 人
	有効回収数(率)	1,684 人 (56.1%)
	調査時期	平成 21 年 1 月 22 日～2 月 1 日
	調査方法	調査員による個別面接聴取
調査目的	自衛隊の補給支援活動に関する国民の意識を調査し、今後の施策の参考とする。	
調査項目	1 補給支援活動の認知度 2 補給支援活動を何から知ったか 3 補給支援活動についての評価 4 評価する理由／評価しない理由 5 「高山」襲撃事案の認知度 6 国際平和協力活動の周知 7 国際平和協力活動の今後の取組	
調査実績	自衛隊のイラク人道復興支援活動に関する特別世論調査 (平成 18 年 9 月) 自衛隊・防衛問題に関する世論調査 (平成 18 年 2 月)	

<お願い>

本資料の内容を引用された場合、その掲載部分の写しを  
下記宛にご送付ください。

内閣府大臣官房政府広報室  
世論調査担当

〒100-8914 東京都千代田区永田町 1-6-1  
電話 03(3581)0070  
FAX 03(3580)1186

# 「自衛隊の補給支援活動に関する特別世論調査」の要旨

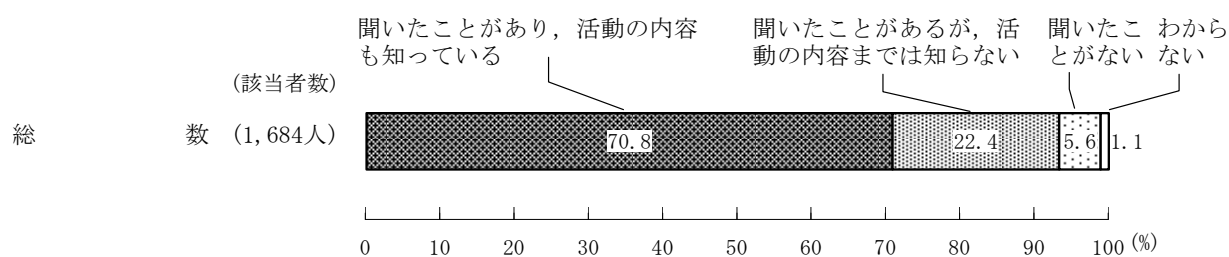
平成 21 年 3 月  
内閣府政府広報室

〔 調 査 時 期：平成 21 年 1 月 22 日～2 月 1 日  
調 査 対 象：全国 20 歳以上の者 3,000 人  
有効回収数(率)：1,684 人 (56.1%) 〕

## 1 補給支援活動の認知度

平成 21 年 1 月

- ・聞いたことがあり、活動の内容も知っている 70.8%
- ・聞いたことがあるが、活動の内容までは知らない 22.4%
- ・聞いたことがない 5.6%
- ・わからない 1.1%

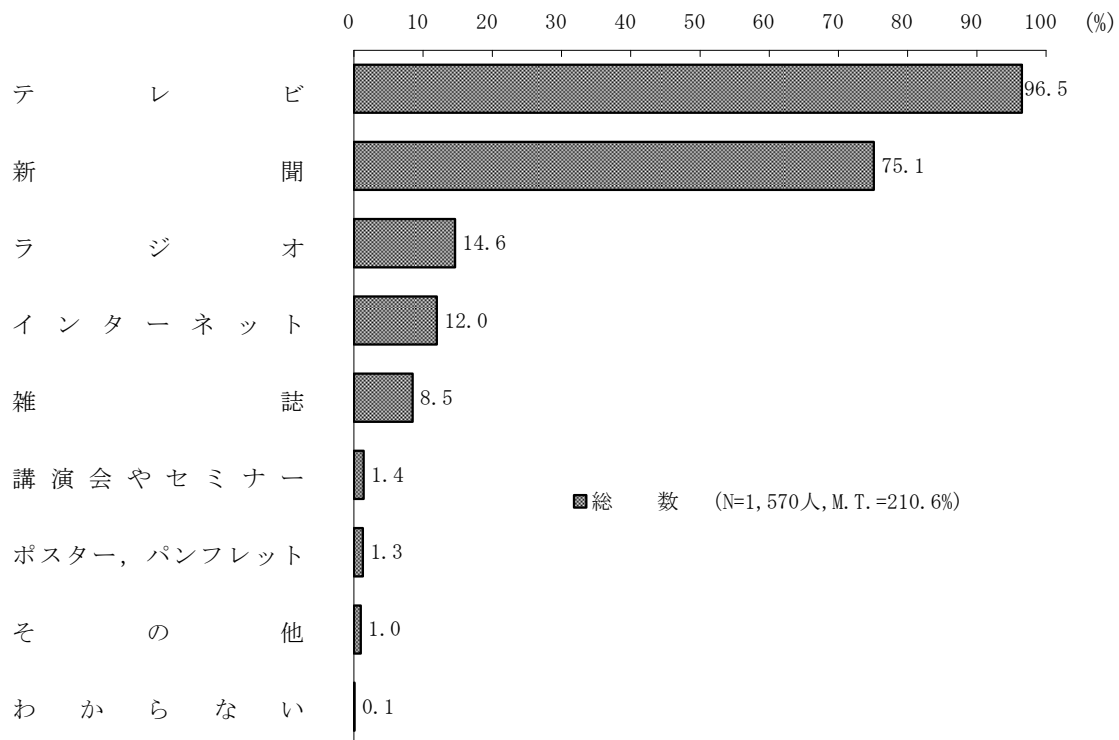


## 2 補給支援活動を何から知ったか（複数回答）

平成 21 年 1 月

・テレビ	96.5%
・新聞	75.1%
・ラジオ	14.6%
・インターネット	12.0%

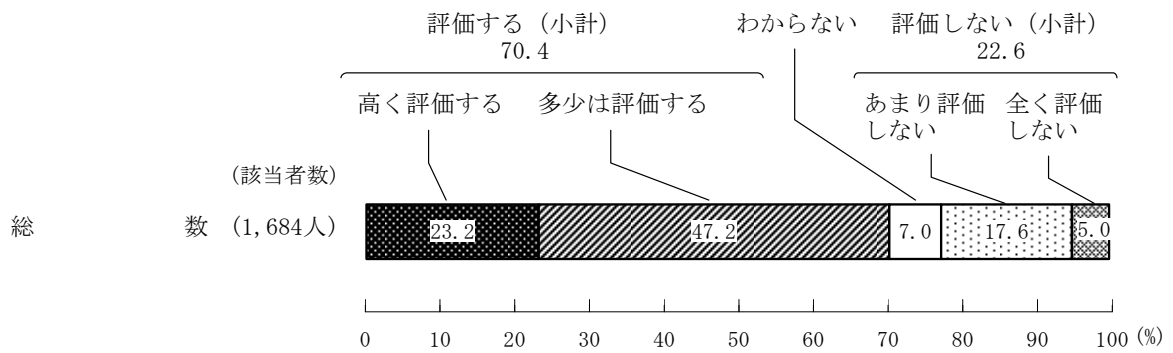
「聞いたことがあり、活動の内容も知っている」、  
「聞いたことがあるが、活動の内容までは知らない」と答えた者に、複数回答



### 3 補給支援活動についての評価

平成 21 年 1 月

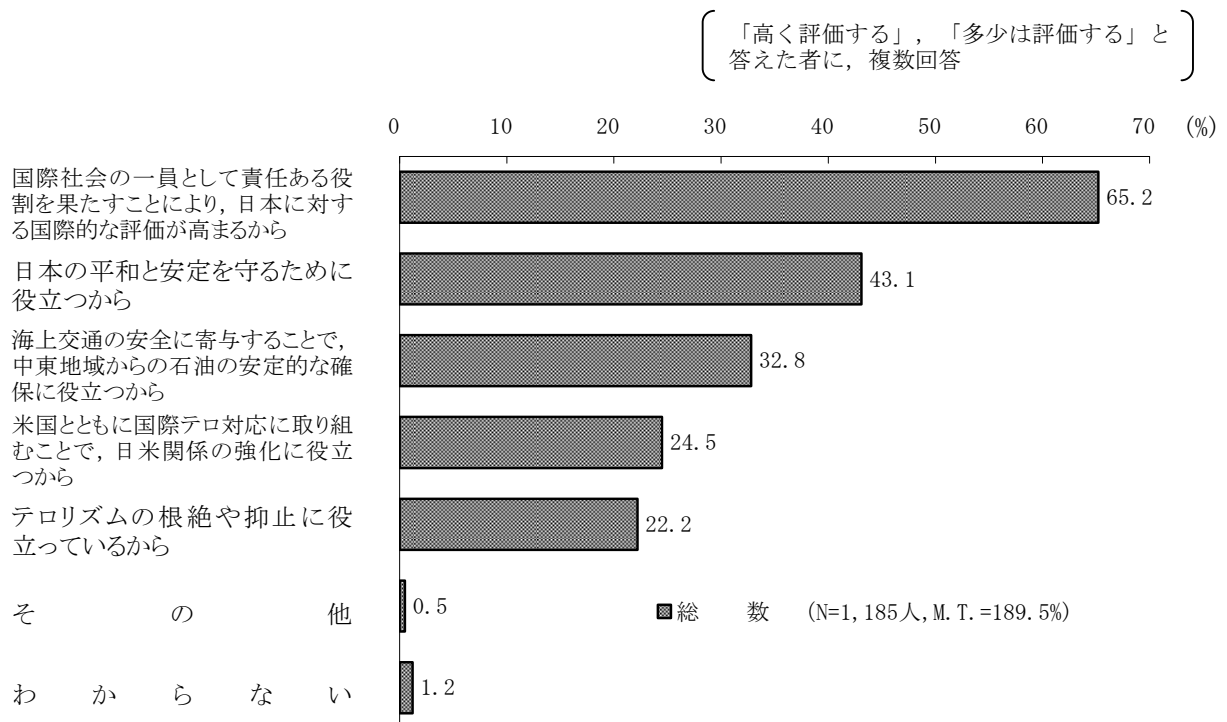
・評価する（小計）	70.4%
・高く評価する	23.2%
・多少は評価する	47.2%
・評価しない（小計）	22.6%
・あまり評価しない	17.6%
・全く評価しない	5.0%
・わからない	7.0%



#### 4 (1) 評価する理由 (複数回答)

平成 21 年 1 月

- ・ 国際社会の一員として責任ある役割を果たすことにより,  
日本に対する国際的な評価が高まるから 65.2%
- ・ 日本の平和と安定を守るために役立つから 43.1%
- ・ 海上交通の安全に寄与することで,  
中東地域からの石油の安定的な確保に役立つから 32.8%
- ・ 米国とともに国際テロ対応に取り組むことで,  
日米関係の強化に役立つから 24.5%
- ・ テロリズムの根絶や抑止に役立っているから 22.2%

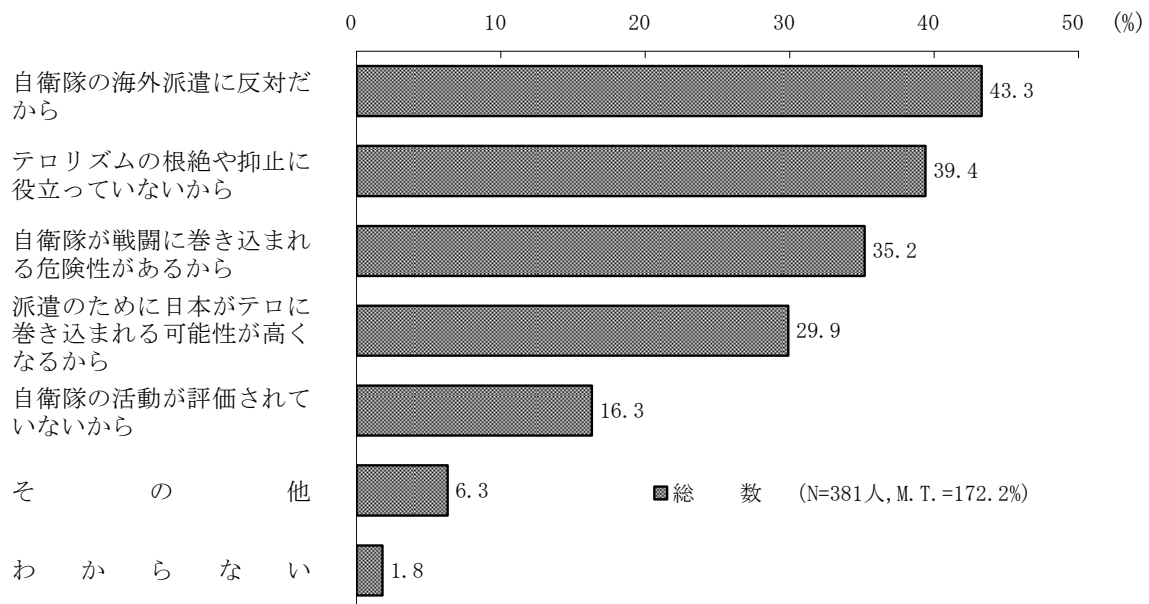


(2) 評価しない理由 (複数回答)

平成 21 年 1 月

- ・ 自衛隊の海外派遣に反対だから 43.3%
- ・ テロリズムの根絶や抑止に役立っていないから 39.4%
- ・ 自衛隊が戦闘に巻き込まれる危険性があるから 35.2%
- ・ 派遣のために日本がテロに巻き込まれる可能性が高くなるから 29.9%

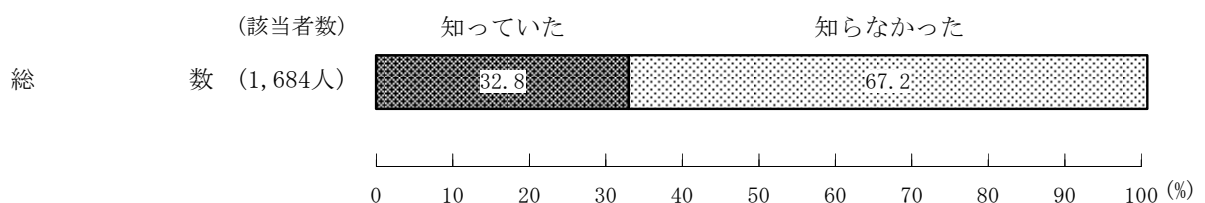
〔 「あまり評価しない」, 「全く評価しない」と答えた者に, 複数回答 〕



5 「高山」襲撃事案の認知度

平成 21 年 1 月

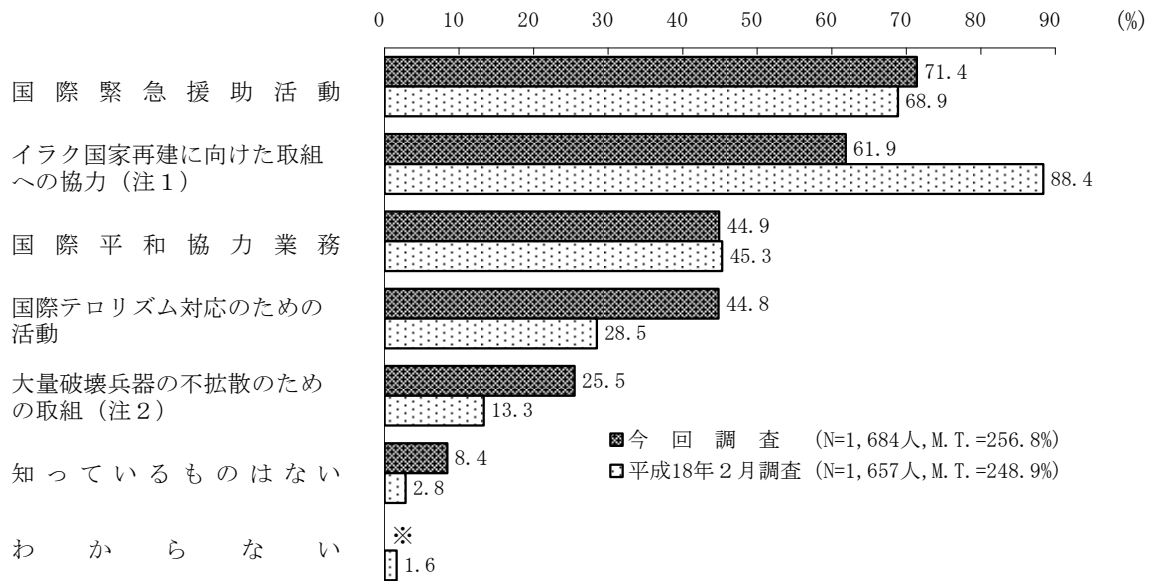
- ・ 知っていた 32.8%
- ・ 知らなかった 67.2%



## 6 国際平和協力活動の周知（複数回答）

	平成18年2月		平成21年1月
・国際緊急援助活動	68.9%	→	71.4%
・イラク国家再建に向けた取組への協力	88.4%	→	61.9%
・国際平和協力業務	45.3%	→	44.9%
・国際テロリズム対応のための活動	28.5%	→	44.8%

（複数回答）



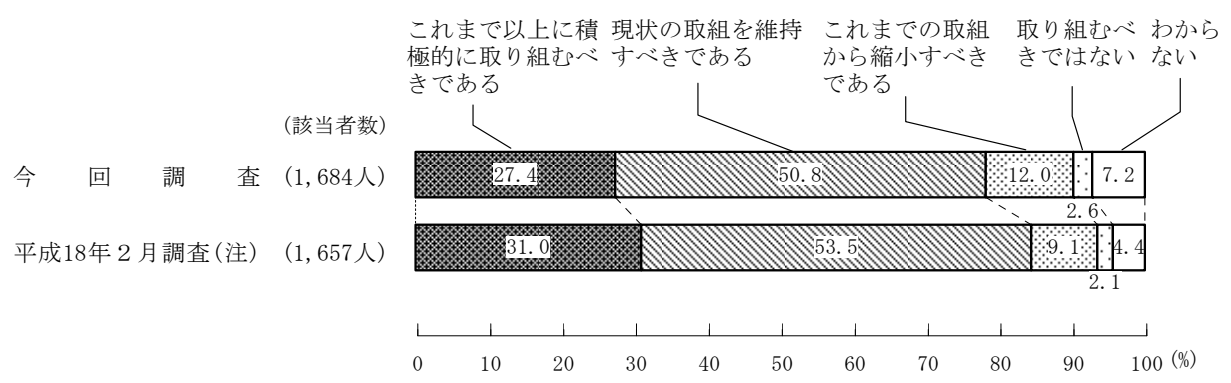
注1) 平成18年2月調査では、資料の例示が「イラクの復興のための医療活動、給水活動（17年2月4日まで）、学校などの公共施設の復旧・整備、人道復興関連物資の輸送活動」となっている。

注2) 平成18年2月調査では、「(大量破壊兵器の) 拡散に対する安全保障構想（P S I）への取組」となっている。

※：調査をしていない項目

## 7 国際平和協力活動の今後の取組

	平成 18 年 2 月		平成 21 年 1 月
・これまで以上に積極的に取り組むべきである	31.0%	→	27.4%
・現状の取組を維持すべきである	53.5%	→	50.8%
・これまでの取組から縮小すべきである	9.1%	→	12.0%
・取り組むべきではない	2.1%	→	2.6%
・わからない	4.4%	→	7.2%



注) 平成 18 年 2 月調査では、「このような国際平和協力活動に、今後、どのように取り組んでいくべきだと思いますか。」と聞いている。

### [参考] 国際平和協力活動に対する意識

	該 当 者 数	(取 小 計) 組 む べ き	積極的 に 取 組 む べ き		は 取 り 組 む べ き で な い (小 計) で	ど ち ら か の 取 組 む べ き で な い		わ か ら な い
			組 む べ き	ど ち ら か の 取 組 む べ き		ど ち ら か の 取 組 む べ き	で 取 り 組 む べ き	
平成 18 年 9 月 調 査	1,811 人	74.8 %	32.9 %	42.0 %	16.1 %	12.6 %	3.5 %	9.1 %

注) 平成 18 年 9 月調査では、「自衛隊は、イラク人道復興支援活動以外にも、テロ対策のための協力支援活動や、国連平和維持活動、国際緊急援助活動などといった国際平和協力活動を実施しています。今後、このような国際平和協力活動に積極的に取り組むべきだと思いますか。それとも、取り組むべきではないと思いますか。」と聞いている。



# 自衛隊の補給支援活動に関する特別世論調査

調査時期：平成21年1月22日～2月1日  
調査対象：全国20歳以上の者3,000人  
有効回収数(率)：1,684人(56.1%)

話は変わりますが、次に時事問題として、「自衛隊の補給支援活動」についてお伺いします。

(【資料1】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。)

## 【資料1】

2001年(平成13年)の9.11テロ以降、国際社会は、軍事のみならず、外交、警察・司法、情報、経済などのさまざまな分野において国際テロ対応のために取り組んでいます。

日本は、2001年(平成13年)12月以降、海上自衛隊をインド洋に派遣して、テロリスト及び関連物資の海上移動の阻止・抑止のための取組である海上阻止活動に参加している各国の艦船に対して、燃料及び水を提供する補給支援活動を行っています。

Q1 【回答票15】あなたは、インド洋において海上自衛隊が補給支援活動を行っていることをご存じですか。この中から1つだけお答えください。

(70.8) (ア) 聞いたことがあります、活動の内容も知っている

(22.4) (イ) 聞いたことがあるが、活動の内容までは知らない

(5.6) (ウ) 聞いたことがない

(1.1) わからない

→ (次ページのQ2へ)

(Q1で(ア)、(イ)と答えた者に)

SQ 【回答票16】海上自衛隊が補給支援活動を行っていることを何から知りましたか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=1,570)

(75.1) (ア) 新聞

(8.5) (イ) 雑誌

(12.0) (ウ) インターネット

(96.5) (エ) テレビ

(14.6) (オ) ラジオ

(1.3) (カ) ポスター、パンフレット

(1.4) (キ) 講演会やセミナー

(1.0) その他 ( )

(0.1) わからない

(M. T. =210.6)

(全員に)

Q 2 【回答票 17】あなたは、海上自衛隊の補給支援活動について、どの程度評価しますか。この中から1つだけお答えください。

(23.2)	(47.2)	(17.6)	( 5.0)	( 7.0)
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
高く評価する	多少は評価する	あまり評価しない	全く評価しない	わからない
				↳ (Q3へ)

(Q2で(ア),(イ)と答えた者に)

S Q a 【回答票 18】海上自衛隊のインド洋における補給支援活動の評価するのはなぜですか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=1,185)

(22.2) (ア) テロリズムの根絶や抑止に役立っているから  
(65.2) (イ) 国際社会の一員として責任ある役割を果たすことにより、日本に対する国際的な評価が高まるから  
(43.1) (ウ) 日本の平和と安定を守るために役立つから  
(32.8) (エ) 海上交通の安全に寄与することで、中東地域からの石油の安定的な確保に役立つから  
(24.5) (オ) 米国とともに国際テロ対応に取り組むことで、日米関係の強化に役立つから  
( 0.5) その他 ( )  
( 1.2) わからない

(M. T. =189.5)

(Q2で(ウ),(エ)と答えた者に)

S Q b 【回答票 19】海上自衛隊のインド洋における補給支援活動の評価しないのはなぜですか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=381)

(39.4) (ア) テロリズムの根絶や抑止に役立っていないから  
(16.3) (イ) 自衛隊の活動が評価されていないから  
(29.9) (ウ) 派遣のために日本がテロに巻き込まれる可能性が高くなるから  
(35.2) (エ) 自衛隊が戦闘に巻き込まれる危険性があるから  
(43.3) (オ) 自衛隊の海外派遣に反対だから  
( 6.3) その他 ( )  
( 1.8) わからない

(M. T. =172.2)

(全員に)

Q 3 昨年(平成20年)4月に日本のタンカー「高山」が海賊からの襲撃を受けた際に海上自衛隊から給油を受けたことのあるドイツ軍艦「エムデン」に助けられたということがありました。あなたは、このような事実をご存じでしたか。

(32.8)	(67.2)
知っていた	知らなかった

【資料 2】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。）

【資料 2】

国際社会の平和と安定を確保するために、自衛隊が行う『国際平和協力活動』には、次のようなものがあります。以下の例示は、エ)を除き、平成 20 年に実施したものです。

- ア) イラク国家再建に向けた取組への協力  
イラクの復興のための人道復興関連物資等の輸送
- イ) 国際テロリズム対応のための活動  
インド洋において対テロ海上阻止活動を行う他国艦艇への燃料や水の補給
- ウ) 国際平和協力業務  
国際連合平和維持活動（PKO）として、
  - ゴラン高原における国連兵力引き離し監視隊（UNDOF）に参加
  - ネパールにおける国連ネパール政治ミッション（UNMIN）に参加  
（武器の管理・兵士の監視等の活動）
  - スーダンにおける国連スーダン・ミッション（UNMIS）に参加  
（司令部要員を派遣）
- エ) 国際緊急援助活動  
海外における大規模災害の発生に際し、被災国政府または国際機関の要請に応じて行う、  
①医療活動、②物資、機材、患者、要員などの輸送活動、③給水活動などの協力
- オ) 大量破壊兵器の不拡散のための取組  
核や化学・生物兵器などの拡散を防止するための合同阻止訓練への参加

Q 4 【回答票 20】国際社会の平和と安定のため自衛隊が取り組んでいる国際平和協力活動のうち、あなたが知っているものをこの中からいくつでもあげてください。（M. A.）

- (61.9) (ア) イラク国家再建に向けた取組への協力
- (44.8) (イ) 国際テロリズム対応のための活動
- (44.9) (ウ) 国際平和協力業務
- (71.4) (エ) 国際緊急援助活動
- (25.5) (オ) 大量破壊兵器の不拡散のための取組
- ( 8.4) 知っているものはない

(M. T. =256.8)

Q 5 【回答票 21】国連PKOへの参加や国際緊急援助活動などの国際平和協力活動が、平成 19 年 1 月に自衛隊の本来任務として位置づけられました。このような国際平和協力活動に、今後、どのように取り組んでいくべきだと思いますか。この中から 1 つだけお答えください。

- (27.4) (ア) これまで以上に積極的に取り組むべきである
- (50.8) (イ) 現状の取組を維持すべきである
- (12.0) (ウ) これまでの取組から縮小すべきである
- ( 2.6) (エ) 取り組むべきではない
- ( 7.2) わからない